



TOP MESSAGE

建設業者としての
社会的責任を果たす

東日本大震災の発生から1年半が経ちました。

この間、当社も震災直後の応急復旧にはじまり、被災地支援に向けた取り組みに注力してまいりました。

被災地では、復興への動きが着実に進んではいるものの、復旧もままならない地域もあります。この未曾有の大惨事を受けて、被災地に暮らす方々、そして故郷を一時的にでも離れざるを得ない方々が、いまなお、さまざまな思いを抱いているということを忘れることなく、当社も建設業者の一員として、被災者、被災地の生活が一日でも早く日常を取り戻せますよう、引き続き、復旧・復興支援に尽力してまいります。

防災・減災への取り組みを強化

当社は、これまでさまざまなモノづくりに携わってきた中で、常に自然との共生・共存というテーマと向き合ってきました。四方を海に囲まれ、多彩な四季をもつ日本は、豊かな自然に恵まれています。時として自然は猛威を振ります。

昨年3月に発生した大震災そして大津波は、私たちがこれまで経験したことのない甚大な被害をもたらし、それまでの地震に対する備えの意識を大きく変える転機となりました。

また、津波により発生した大量のがれきや土砂が復旧・復興作業の妨げとなるなど、多くの課題も残りました。

当社はこれまでも、地震に強い港湾施設の整備、制震・免震など建物の耐震化に取り組んできましたが、今後も、液状化対策や津波対策など当社が保有する技術の深化を図るとともに、がれきの処理、除染、廃棄物のリサイクルなど、環境負荷低減への取り組みも強化し、安心・安全な社会の実現に向けて貢献していきます。

持続的成長の実現をめざして

現在当社は、2010年4月に策定した「中期経営計画（2010年度～2012年度）」を推進中です。

この計画では、経営目標に、「持続的成長の実現を目指して、技術力・組織力・個人の力を結集し、収益基盤強化を図る」を掲げ、競争力・収益力のある強靱な経営体質の確立を目指しています。

今年度は、「中期経営計画」の最終年度にあたりますが、次なる成長に向けた布石を打つ1年と位置づけ、経営目標の達成に向け、役職員が一丸となって取り組んでまいります。

社会的要求事項と社内基準を遵守する

当社が社是に掲げる「高い技術をもって、社業の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす」は、当社が経営を行う上での根本的な思想であり、社員がいかなる時にも進むべき道を示す道標となっています。

この社是にうたわれた「健全な経営」には、制定時（1981年6月）に二つの思いが込められていました。ひとつは、社会から与えられた役割を果たすことであり、経営の状態を常に堅実に保ち、いかなる環境の変化にも耐える強い体質を作ることです。そしてもうひとつは、平素から環境、安全、地域社会、企業倫理等に気を配ることです。

当社のCSRの原点とも言うべきこの社是に込められた思いを新たに、引き続き法規制を含めた社会的要求事項や、社内の基本方針として定めた環境方針、安全方針、品質方針を遵守し、健全な経営を目指していきます。

本報告書は、当社グループのCSRに関する活動実績をまとめたものです。

ご一読いただき、皆さまからの忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長

松尾正臣